



東北教区婦人会だより

指 導 聖 句

私は、こう祈ります。あなたがたの愛が、深い知識とあらゆる洞察を身に着けて、ますます豊かになり、本当に重要なことを見分けることができますように。

そして、キリストの日には純粹で責められるところのない者となり、イエス・キリストによって与えられる義の実に満たされて、神を崇め、賛美することができますように。

(聖書協会共同訳 フィリピの信徒への手紙 1:9-11)

目 次

P.1 協同する恵み	司祭ステパノ	越山 哲也
P.2 皆さまと共にwith love / 2023年度 感謝箱献金報告	会長	赤坂 康子
P.3~4 2024年各婦人会会員名、活動報告		
P.5~7 [ファミリーホームのあ]Zoom研修会	網走聖ペテロ教会	飯野まゆみ
	講演を聞いて	越山香菜子
P.8 敬老基金運営委員会から	敬老基金運営委員会委員長	中村みどり
★会計からのお願い	会費、献金の振込先	会計 高山 瞳
P.9 教区婦人会からお知らせ/教区婦人会役員会連絡先	編集後記	坂水 かよ

「協働する恵み」



東北教区婦人会 チャプレン
司祭 ステパノ 越山哲也

「コラボレーション」(協働)を大切にしていきたいと思いますということが最近あちらこちらで耳にするようになりました。私自身も常にそれを意識するようになっています。ある会社(企業)同士が共同制作した食品、たとえばラーメン、スイーツ、お弁当などがあります。また、衣類分野関係でもその分野で有名な方と企業が共同制作した T シャツなどの「コラボ商品」は大人気で発売してすぐに完売になってしまうそうです。

「コラボ」という言葉を調べると「異なる企業やジャンルの人・団体が協力して商品を開発したり、アイデアを出し合ったりすること」とありました。

教区婦人会役員会でも昨年から 2 つの行事を「協働」で行いました。一つは昨年 8 月 26 日(土)に実施した「カナンの園訪問」です。これは、「教役者聖職候補生後援会」との協同でした。もう一つは、先日オンラインで行われた「ファミリーホームのあ」のお話を聴く会です。これは、「教役者聖職候補生後援会」、「教区保育連盟」、「ハラスメント防止・対策委員会」との協働でした。

2 つのプログラムともに教区婦人会の枠の中ではなかなか参加を呼びかけ、どなたでもどうぞご参加くださいと呼びかけても教区婦人会を脱会した教会や他の信徒の方にとってはなかなか関心を向けてもらえずに参加者が限られてしまうところでしたが、結果的に協働した事により、多くの方々に関心をもって頂きどちらのプログラムも参加者が与えられプログラムを通して恵みを分かち合うことが出来ました。

私は協働したことにより一人一人が関心を持つことができたのではないかと考えています。これからもこのポイントは大切にしていきながら、さらにコラボの大切な点は「お互いに協力をしてアイデアを出していく」ことだと思います。主イエス様の呼びかけは私たち一人一人にその人にふさわしい形でなされます。その呼びかけに応えた私たちは協力してキリストの教会をつくりあげ、主と共に御国の完成を待ち望みつつ歩んで参ります。それぞれに与えられた賜物を献げだして協力していく先に恵みが与えられるのです。どうかこれからも「協働」して神さまの恵みに預かって参りましょう。





皆さまと共に with love

東北教区婦人会 会長 赤坂康子

イースターの訪れも間近となり、春の陽ざしを感じるようになりました。晴れた日には真っ白の雪で覆われた岩手山が美しく、きらきらと輝いています。ギリシャ人の友達から時々くる手紙には最後に必ず with love が添えられています。“愛を込めて、愛をもって”最後に沿える挨拶文の一般的な表現であっても、添えられていると、ふと温かい気持ちになります。

婦人会の皆さまから頂きましたお便りに、“コロナも落ち着いてきたので顔を合わせて集まりたい”の声が届いております。記録によると、昭和63年の東北教区婦人会第30回の茂庭荘で開催された東北教区婦人会総会には126名！の参加となっています。その頃の総会には主教様はじめ、各教会から聖職者の方々も全員がご参加され、開会礼拝の聖歌は会場に響き渡り、一同共に祈りを捧げました。宿泊の宿では遠方からの久しぶりに顔を合わせる方々と温泉に入ったり、楽しくおしゃべりをいたしました。その時にはもう戻れませんが、思い出としての宝物です。同じ信仰を持つ者同士の信頼の中での繋がりは、遠く離れていても、年に1回の顔合わせでも、直ぐ打ち解けて楽しいものでした。時代は大きく変わりました。多くの仲間が天に召され、寂しくはなりましたが、先達たちの教会への思いは受け継ぎ大事にして、教会や婦人会に参加できなくなっているご高齢の方々との繋がり、まだまだ聞いていない“むかし話”をいっぱいお聞きしたいです。

先日は「ファミリーホームのあ」の Zoom 研修会を教区婦人会主催で初めて開催することが出来ました。苦手な WEB 関係の設定を越山哲也司祭、教役者聖職候補生後援会の方、またハラスメント防止・対策研修会 G の方、保育連盟からも幼稚園の先生たちにもご参加いただきましてありがとうございました。会員数減少の婦人会であります。若い方々にも理解していただくために、婦人会を外に開きながら活動をしていきたいと思います。 with love

☆2023 年度東北教区婦人会の感謝箱献金の献金先☆

- ①小規模住宅型児童養護事業「ファミリーホームのあ」 30,000 円
(北海道網走市)
- ②秋田豪雨被害者支援 (秋田聖救主教会) 30,000 円
- ③社会福祉法人 カナンの園 10,000 円
- ④チャイルドライン 八戸 19,527 円



チャイルドラインとは子どもの声を聴き、こころを受けとめる活動を中心として行っています。活動は、皆さんからの支援やボランティアに支えられています。子どもたちの現状を社会へと情報発信し、子ども達をとりまく環境の整備を働きかける行動もしています。チャイルドラインは子どもの権利条約に基づく子ども観のもと、子どもの生きやすい社会を目指しています。子どもからの着信は年間 20 万件。約 2000 人のボランティアが交代で電話を受けています (インターネットより)

感謝箱献金は皆さまからの献金によって成り立っています。小さな働きも集まれば、大きな力になります。皆さまのご協力に感謝いたします。



2024年 婦人会・個人会員名と活動計画等



✿ 仙台基督教会婦人会 会員数 23名

(略)

- ・例会は奇数月 ・大斎リトリート ・世界祈祷日参加・敬老祝会 ・子どもの祝福式
- ・聖公会神学院、京都ウイリアムス神学館への愛の宅急便
- ・イースターカード、クリスマスカードの発送 ・教会バザー参加

✿ 盛岡聖公会婦人会 会員数 20名

(略)

- ・司祭様と一緒に教友訪問を今年度は大事にしたい ・結婚、洗礼、堅信式にお祝を贈る
- ・園庭の大きな“いちょうに木”の下でお茶会 ・世界祈祷日（今年度はパレスチナ）に参加
- ・礼拝堂清掃への協力 ・礼拝協力 ・諸聖徒日、葬儀等の準備、片付け
- ・復活祭・降誕日カードを信徒・遠方の教友に贈る

✿ 大館聖パウロ教会婦人会 会員数 9名

(略)

- ・年間活動予定～教会における諸活動に対して、協力体制をとっていく
- ・大館聖パウロ幼稚園への協力支援をする
- ・目標～主の働きのために其々ができることで共に祈り、協力し合っていきましょう
- ・婦人会総会の様子～今年度は諸般の事情により3月3日開催予定です

教区婦人会役員会への希望、意見等

- ・会員の高齢化が進み、新会員の加入も望めない中で、今後の活動が縮小されてくることになるのではと思っています。スムーズな運びとしての発信が出来ると良いのですが…
- ・盛岡婦人会役員会の皆さまが任を担ってくださいますことに心より感謝申し上げます。希望としてコロナも落ち着いてきましたので他の婦人会も含めて交流会を開催し、親睦を深めることが出来たらと思います。これからもお世話になります。よろしくお願いいたします。

✿ 仙台聖フランシス教会婦人会 会員数 7 名（役職は付けていません）

（略）

ここ 4 年、コロナ禍で昼食や茶話会もなく、婦人会の集まりもありませんでした。イースターやクリスマスの準備、毎主日の礼拝準備や清掃など行いました。礼拝後の昼食や茶話会が早く再会され、少人数ながら楽しく歓談出来る日が来ることを祈っております。役職はなくみんなで支えあってやっております。

✿ 米沢聖ヨハネ教会婦人会 会員数 3 名

（略）

教会内外の清掃、聖餐式（月 2 回）の準備等婦人会員だけでなく、教会の皆さまと共に、ご奉仕しています。平均年齢 80 歳を超えていますので、「無理なく、出来る時に、出来ることを、出来る人が、しましょう」と話しています。婦人会としては特に会合はもっていません。長らく会長として働かれた方が施設に入居されましたが、いつもお祈りで支えて下さっています。

*教区婦人会役員会への希望、意見等

コロナの影響があり、近隣の教会の婦人会が集まることは難しかったのですが、各婦人会の課題や恵みを共に祈り分かち合うことができたらと思っています。

✿ 釜石神愛教会婦人会 会員数 2 名

（略）

※以上教区 6 教会婦人会の皆様です

✿ 個人会員（4 名）の皆様

（略）

Happy Easter



*個人会員は教会で一人です。皆さまにお声をかけ、お誘いしてはいるのですが、なかなか入会には至らないようです。役員のみなさまのご負担が少しでも軽くなることを望んでいます。

*教会になかなかいらっしゃれない方々に、婦人会で目を向けて声掛けをしてほしい。定住司祭のいない小さな教会にも目をむけてほしい。

*いろいろなことがあります。元気でやっております。

全会員

皆さま

よろしく願いいたします!

68 名



「ファミリーホームのあ」 (Zoom 研修会)

網走聖ペテロ教会 飯野まゆみ

①自己紹介～北海道網走聖ペテロ教会の飯野まゆみと申します。網走と言えば皆さまは何を思い浮かぶでしょうか。広い土地、オホーツク海、流氷、網走刑務所は有名だと思います。主人と私は 27 年位前に聖公会の教会に導かれ、その前は福音派の教会の牧師をしておりました。私達夫婦は 35 年間幼児教育、里親として子ども達と関わる生活をして今に至っております。

②里親との出会い～幼稚園を営んでいた時代、カトリック教会の信徒さんの里子さんを 4 年間保育いたしました。2 歳の男の子、行動・情緒面で問題を抱えており、興奮すると 10 キロ以上あるテーブルを持ち上げたり、壁に突進し目を離せませんでした。里親さんも大変苦勞なさっていました。その月日の中で私は里親制度があることを知りました。私にも何か出来るかも、里親の働きをしたい気持ちになり、主人と話し合っけて里親登録をしました。3 年間、子どもの委託は当時 2 人の娘にはまだ小学生、自分の家庭に他の子が入るのを嫌がり、子ども達が認めてくれるまで待つことにしました。娘が高校生になる頃、もう一度里親になることを聞いたら「いいよ」と返事があったので、私達は里親として歩むスタートとなりました。後に 2 人の幼児が委託され、教会の皆さんに愛され障がい者の就労支援の仕事と里親をして、7 年間で 3 人の子を養育しました。里親には養育里親、親族里親、養子縁組、専門里親があり、私は専門里親として登録しています。

③ファミリーホームの設立～里親になり 8 年目に入った頃、児童相談所を通じてファミリーホームを設立しました。実は設立を考えていた時、主人は東北大震災の支援のために釜石へ行っていました。相談する時間もなく、決断をしなければなりません。ファミリーホームは里親と児童養護施設の間で定員は 6 名。0 歳～今は 20 歳まで養育することが出来ます。家庭的な面と施設的な面がありますので、補助者としての職員が 2 名以上い

ないといけません。11 年前に教会の近い所にホームとしての家を購入し、子ども達がここに来て救われ、守られる事を思い、ノアの箱舟の「のあ」と名前をつけました。出入りの中で今まで 19 名の子ども達を委託し共に生活し、現在 6 名の 2 歳から 11 歳の子どもがいます。



④ホームに気付いた苦心～委託される子ども達はいろいろな過程を経て来ます。ほとんどと言っていいほど、虐待を受けています。

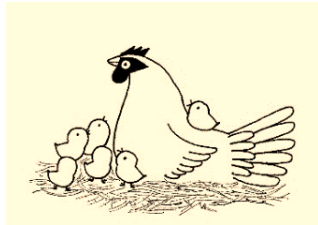
虐待～身体的虐待(暴力)・心理的虐待(脅迫、無視、DV)・性的虐待(性的行為、いかがわしい映像を見せる)・ネグレクト(無関心、食事を与えない、不衛生な衣類)

虐待を受けた子は年齢が大きい程、両親に対して、また大人に対して心の痛みは悲しみから憎しみ、無関心になります。差別、孤立感を感じた子は、初めは良い子になろう、見てもらおうと頑張っけて笑顔を作ったり気を遣っけてくれます。聖書に「父と母を敬え」と御言葉がありますが、父・母から暴力を受けた子ども達にどう話したら良いのか考えさせられます。

ある青年は、中高生の時は自分を捨てた両親を憎み続けました。彼女が出来て幸せを感じた時、「彼女と出会うために俺は産まれたんだね」と言っけてくれた時はホッしました。心が満たされる幸せを感じる時、心情も変わるのですね。日々の生活で学校や幼稚園に通う中で、集団生活がちょっと難しうまく送れない、学習面で苦勞する、やがて心や身体に症状が現れてくる子もおります。「なぜ、トイレの自立ができないのだろう」「なぜ、出ているのに気が付かないのだろう」。通院することによって病気がわかった子もいます。その子は一生オムツが必要です。医療機関や福祉の協力を得る中で、投薬しつつ、子どもが落ち着いて安心した毎日が送れるように支えます。

⑤喜び、困惑、忍耐～里親に登録した時は喜びでいっぱいでした。楽しい生活、可愛い子ども、毎日が幸せだと思いました。でも生まれも個性も違う子どもの養育は、時には絶望感を感じることもあります。なかなか理解してもらえない、自分の気持ちも伝えてくれない、しょせん里親、親ぶっても受け入れてもらえない時は本当に困惑します。今日は2人の子の体験を聞いていただけたらと思います。

今年23歳になったゆうた君(仮名)は、高校1年生でホームに来ました。父



親からの虐待で、8時間自転車を走らせ助けを求めて児童相談所に行きました。私からみればとても素直で、何が原因で虐待を受けていたのかわかりませんでした。本人の口からいろいろな話をしてくれたのはそんなに時間は経っていませんでした。他人事のように話す内容は、驚くことにばかりでした。勉強しないと叩かれ、19時の門限を守らなかったと4時間正座し説教、100点を取って当たり前、95点だと叱られる。父から子どもへの期待はエスカレートしたそうです。「4時間もよく耐えたね」の言葉に「頭の中で小説を1冊読みました」とためらいもなく話してくれました。卒業し札幌の大学へ進学、私は少しでも生活に充てられたらと少しずつ貯めた8万円、大学は奨学金で行けるように手続きをしました。家庭復帰と言うことで措置解除となり、幸せを祈って見送りました。後1年で卒業し就職する姿を思い浮かべていたある日、1本の連絡が来ました。少々心配をしていた中だったので「久しぶり。元気？どうした？後1年だね」と言うと、彼の口から「後期の授業料が払えずこのままだと退学になってしまいます。お金を貸してください」と言われ、私は「家族は援助してくれないの？」と聞きました。実は家族にお金を貸していたのは学生のゆうた君でした。私は胸が苦しくなり、このまま彼が希望を失ったら大変と思い私が援助することを決めました。大学を卒業し、彼は今ホームから1時間程度の場所で社会人となり働いています。親代わりとして時々会いながら生活を見守り支えています。

ゆうた君には弟がいます。卒業し就職した時、施設で生活している弟を呼び、一緒に住むようになりました。弟も働き、生活はうまく事を考えたのでしょう。半時が経つ頃、一緒に生活は無理と連絡を受け、急いで相談の時間をとりました。働くどころか精神疾患を患い、毎日ゲームか寝ており、生活も乱れ入浴もせずアトピー性皮膚炎もひどくなり、兄が食事を作らないと何日も食べない、お金も無くなり生活が出来なくなっていました。私はこの現実には2人共倒れてしまうことを察し、ホームに弟を連れてきました。規則正しい生活、身体の治療、今後の生活の立て直しを考え、生活保護、障害年金の申請をし、今はホームで生活しています。本当に苦しい時に頼りたい親は彼を見放しています。

もう一人のせいじ君(仮名)は社会人になり5年目に入ろうとしています。中学3年生の終わりにホームに来ました。ご両親がいないお兄さんとの生活でしたが、荒れた生活から光熱費、部屋代滞納、学校にも行けなくなり児相を通し委託されました。体は大きく体型もがっちりしていた彼ですが、声は小さく1m前にいても何を言っているのか聞き取れませんでした。ホームに来た当初は反抗的でした。私が言うと「女に言われたくない」とはっきり言われました。定時制に4年間通う中で少しずつ関係も出来てきました。2年経ってから自分の生活してきた事を話してくれるようになりました。電気、水道が止まりトイレや体を洗うのは公園のトイレの水。冬は雪を溶かして体を拭いたこと。電気は夜中、団地の廊下のコンセントを利用して充電、部屋の電気は懐中電灯。食事は1週間に1000円兄からもらう。パチンコで勝ったらお弁当がもらえたこと。「辛かったね」というと「そんな事考える余裕はありません」とさらっと話していました。4年が経ち卒業式の日、教室での一言で「お母さん、ありがとうございます」の言葉は忘れられません。卒業後、ホームの近くにアパートを借り仕事をしながら週に1、2回はホームを手伝ってくれています。拒否から始まったホームでの生活から9年、今では時々教会の礼拝にも出席することもあります。



⑥私に出来ること～幼稚園の卒園式も 7 人目を祝います。卒園式の中で子どもがご両親に言葉を送ります。その中に「おかあさん、生んでくれてありがとう」と言うのを何度も聞きます。私はその言葉に心が痛くなります。本当なら実のお母さんに言うことなのに何のためらいもなく言葉に出し、そばに来てくれます。先日、幼稚園の卒園生の行事でご両親に花束を贈る時があり、ホームでは 2 人の子どもが出席しました。無邪気に「お母さんありがとう」と言って花束をさしだしハグをした時、涙が出そうになりました。いつか、この子が大人になり理



解した中で、本当の親に「ありがとう」と言う日が来るのを祈ります。

又何らかの障害を持っている子がいます。パニック、暴力、幻聴、自傷行為をとまなう障害は本人の支援と周囲への配慮が必要です。「この子自分勝手なんです。自己中心なんです。言葉も行動も乱暴なのです。」と医師に話したら「それは勝手なのではなくそれが〇〇さんの主張なんですよ。そうしないと伝えられないんですよ。」と言われました。上手く相手に伝えられない、自分の感情のコントロールが出来ない、理解の出来ないことばかりあります。私に出来ることはそんな子ども達に罪はない、本人も苦しくて泣いて訴える姿にこの子を守らなければと思います。

自閉症の子を 9 年間養育しました。13 歳の男の子は体も力も強くなり、他害も目立つようになり、パニックを起こすと 2、3 人でも抑えるのが大変になりました。今まで何度も私自身かじられながら育ててきましたが、パニックで暴れ太ももをかじられながら抑えている時に、肋骨を骨折してしまいました。半年経っても足のあざはまだ見えます。私は他の職員に「私でよかった」と言うと職員からの言葉にハッと気付かされました。「私でよかったではないでしょ。これが他の子だったら大変だよ。他の子を避難させてこれは安心、安全の養護ではないでしょ」。私は思い違いをしていました。その子を守ると言いながら他の子ども達のこと、事業の在り方を考えていなかったこと。その後、見相と相談しその子は他の場所へ移ることになりました。

私にできることは子ども達 1 人 1 人の安心、安全な場所を備え、心のケアをしていくことだと思い、日々生活していこうと思います。家庭復帰に向けての面会もあります。今年も出入りがありそうです。“ファミリーホームのあ”は救いの場、希望の場所として終わりの時が来るまで主に守られ、導かれながら運営を続けたいと思います。

導かれた言葉聖書 I コリント 12:4

《賜物にはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ霊です》

<講演要旨> 2024.3.2



“ファミリーホームのあ”のお話を聞いて

児童養護施設とは違って、暖かい家庭的な環境の中で守られて生活しているファミリーホームの子どもたち。親からの虐待やネグレクトなどで負った傷はなかなか癒えませんが、安全な環境と、時には抱きしめて、話を聞いて全てを受け止めてくれる存在が必要なのだと思います。また、今助けが必要な子どもたちがたくさんいることも同時に知りました。ファミリーホームを卒業した子どもたちの支援にも取り掛かるために、NPO 法人化に向けて動き始めているとのことで、今後も継続的な祈りと支援が必要だと思いました。

飯野さんの今後のお働きに、神さまの暖かい見守りと導きがありますようにお祈りしております。
(書記 越山香菜子)

この度の研修会講師を快く受けていただいた飯野まゆみさんに心から感謝申し上げます。参加した皆さまからは「ホームが安全、安心で、そのままの自分を出せる場所がありますように」等々、いろいろ感想、質問など寄せていただきました。ありがとうございました。(赤坂康子)



敬老基金運営委員会より

敬老基金運営委員会 委員長 中村みどり

いつも敬老基金運営委員会に御理解を賜り、尊い献金をお献げ下さりありがとうございます。
お陰様で、昨年は 8 教会と2名の個人の方から敬老献金をいただき、8 名の方にお見舞金を差し上げ、めでたく88歳になられた 9 名の方にお祝いの気持ちをお届けすることが出来ました。

教区婦人会に入っておられない教会が増えましたので、昨年は各教会宛てに献金のお願いをいたしました。残念ながらお見舞金・お祝い金のための資金が不足し、基金から一部を運営資金として使わせていただく事になりました。

今年も 9 月の敬老の日に向けて88 歳になられる(なられた)方へのお祝いを差し上げたいと思い 7 月に各教会牧師様宛調査票をお送りいたしますので、皆様の教会で該当の方がおられましたら司祭様を通してお知らせ下さるようお願いいたします。なお、100 歳になられる方につきましては、お知らせ頂いた時点でお祝いをお届けしたいと存じます。

+敬老献金 11 月末日までにお送りくださいますようお願いいたします。
(略)

教区婦人会★会計からのお願い

2024 年度の会費・諸献金をお収めくださるようお願いいたします。

[会費] 年額 2,500 円 11 月中旬まで 各献金も 11 月中旬まで

(略)

+被献日献金 被献日(2 月 2 日)は日本聖公会婦人会(日聖婦)創立記念日と位置付けられています。この日の献金は日聖婦に届けられて信徒、聖職の学びのために活用されます。日聖婦から各教会への申請案内をご参照ください。

+感謝箱献金 春、秋まとめでの送金も可能です。「奉献先の方々の痛みや苦しみ、喜びや悲しみを共有することで生まれる互いの理解と信頼を通し、共に変えられ育つ、この喜びに感謝して祈る」を原点としています。日聖婦への送金は各教区からの感謝箱献金総額の 2 分の 1 以上で、残りは東北教区婦人会で会員の皆様に献金先を考えていただいております。

+ナルド献金「聖マリアへのみ告げの日の献金」および「バザー等の事業献金の一部」を教区援助金としてお献げください。慶弔費や婦人会の活動費となります。



お知らせ

☆2024年6月 雨宮春子さんのお話を聞く会 場所、開催方法(Zoomか対面式か)は未定
雨宮春子ワーカーのプロフィール

看護師・助産師。北海道と大阪の医療機関で看護師として6年間、助産師として9年間勤務。2011年の東日本大震災の時は、公益社団法人日本基督教海外医療協力会 JOCS の看護師チームの一員として岩手県釜石市にて災害救援復興支援活動に参加。2019年1月よりタンザニアに赴任し、タボラ大司教区保健事務所とその傘下にある聖ヨハネ・パウロ2世病院を拠点に活動。ママ・ナ・ムトプロジェクト(ママ・ナ・ムトとはスワヒリ語で母と子の意味)を支援している。日本聖公会北海道教区札幌聖ミカエル教会員。2024年4月に任期を終えて帰国されます。

☆2024年6月18(火)、19日(水) 日本聖公会婦人会第27(定期)総会后第2回会長会
横浜聖アンデレ教会で開催されます。会長の赤坂康子と次回役員会担当の宮城県から1名の方が参加されます。5月初旬に各婦人会からの提出議案(主として感謝箱献金の献げ先)、昨年の婦人会関係の逝去者名をお知らせいただく手紙を郵送いたします。どうぞ各婦人会例会等で話し合いをお願いいたします。

☆2025年度東北教会婦人会総会は2月22日(土)開催予定

北海道教区の笹森田鶴主教様をお招きし、仙台基督教会にて、午前に聖餐式、午後は笹森田鶴主教様を囲んで懇談会を開催予定です。各婦人会の代議員は30分前に集合し、会議室で傍聴者は置かずに、議案審議をする案を検討中です。午前中の礼拝、午後の親睦会は婦人会会員の希望者はどなたでも参加可能とする。参加者の交通費支援についても検討中です。

以上のような案を考えております。皆様のご意見をいっぱいお寄せください(電話、メール、手紙で)。

☆日本聖公会婦人会より「ニュースレター77号」、感謝箱献金事務局より「ガリラヤのほitori 41号」が各教会、婦人会へ届いております。どうぞご覧ください。

†東北教区婦人会の会長として長年に亘りお働きになりました仙台基督教会の小山内れい子さんが2月11日にご逝去されました。91歳でした。魂の平安をお祈りいたします。
東北教区婦人会より、弔電を差し上げました。

個人会員を募集!

教区婦人会から離れた教会、また元婦人会員でない方でも、東北教区婦人会の働きに賛同なさる方は、どなたでも個人会員として入会できます。下記連絡先まで。お待ちしております。

編集後記

三寒四温を繰り返しながら、今年も主イエス様のご復活の喜びとともに春がやってきました。春を待ち芽吹く木々の芽や花々のつぼみに、確かな命の営みを感じ希望が湧いてきます。教区婦人会の活動は“協働”することで、たくさんの方々との出会いがありました。また、そのことで一つ一つが豊かなものになっていることを実感しています。これからも、たくさんの感謝と喜びをもって、皆様と共に婦人会活動を続けていきたいと願っております。(坂水かよ)

★東北教区婦人会連絡先 赤坂康子(会長) (略)
高山 瞳(会計) (略)
事務局 〒020-0021 盛岡市中央通 3-14-14 盛岡聖公会内 司祭 越山哲也